

航空宇宙部品増産へ

エステック(清水町)新工場完成

航空宇宙機器部品製造のエステック(清水町、鈴木誠一社長)は

「ふじのくにフロンティア推進区域」に指定されている同町久米田

に新本社工場を建設し、13日、現地で竣工

(しゅんこう)式を開いた。手狭になっていた従来の本社工場から

生産機能を移し、同日、業務を開始した。

新工場は鉄骨2階建てで、延べ床面積は約

5200平方メートル。20

17年には県などが進める国際戦略総合特区

「アジアN.O.1航空宇宙産業クラスター形成特区」にも指定され、

新工場建設に関連する税制等の支援措置を受けた。

同社は加工が難しい難削材を切削する技術

を持ち、国産初のジェット旅客機MRJ(三菱リージョナルジェット)やH2Aロケット、国際宇宙ステーション



航空宇宙機器部品製造の「エステック」新本社工場
＝13日午後、清水町久米田

など、最先端の航空宇宙機部品を製造している。新工場稼働で増産が可能になる。

鈴木社長は「事業拡大を見据え、最新の機械を整備した。より質の高い製品を提供していく」とあいさつした。関係者ら約70人が出席し、工場内を見学した。